

about us

団体あいさつ

私たちキッズラバルカは「一緒に育てる」をコンセプトに、
地域で生活する子育て家庭に対し、
子どもとお母さんケア専門の訪問看護と
安心して過ごせる居場所提供のサービスを行っています。

病気や障がいがあってもなくても、
手助けを必要とする全ての子どもと家族に寄り添いたい。
「母親らしく」ではなく、「あなたらしい」を大切に。
あなたらしい子育てと一緒に見つけていきましょう！

mom
house



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

施設概要

施設概要

団体名：一般社団法人キッズラバルカ
住所：みよし市福谷町宮ノ前33-1

MomHouse

営業日：月曜～金曜
時間：9時～13時
(産後ケア利用・イベントの際はこの限りではありません。)
電話：0561-56-0456

子ども訪問看護ステーションMom

営業日：月～金曜
時間：9時～16時
電話：0561-42-7877
メール：contact@kidslabarca.com
HP：https://kidslabarca.com/



ご支援のお願い

私たちの活動にご賛同いただき、
ご寄付をお寄せ頂ければ幸いです。
子どもたちやご家族に対する
イベントの開催や、安心して過ごせる
居場所となるように必要な物品の
購入に活用させて頂きます。



ご支援はこちら

mom
house

facility

施設紹介

木の温かみがある、バリアフリーの平屋の建物です。
大きなリビングとキッチン、家族会やピアサポート等に
ご利用いただけます。2つの居室や中庭もあり、
ゆっくりくつろいでいただくことができます。



Photo by Keishiro Yamada

利用者の声

訪問看護と聞くと家に来てこどもの医療面のケアだけをして帰ってしまうイメージでしたが、利用してみると、こどもの見守りをしてくれるのでその間に買い物にでかけられたり、きょうだいと過ごす時間をつくれたり。通園先など進路のことも一緒に考えてくれて、とても心強い存在です。

また、MomHouseの方では色々なイベントを開催されているのですが、先日参加した母親向けのメイクアップイベントでは、バラに囲まれて優雅な時間を過ごすことができました。母としての時間も大切ですが、自分の時間や夫婦の時間もつっていきたく思うようになりました。



Photo by Kenta Yoshizawa

各事業の利用方法

こども訪問看護ステーションMom

こどもとお母さんのケアに特化した
専門スタッフによる訪問ケアを提供いたします。



対象：

- ・病気や障がい、医療的ケアのあるお子さん
- ・小さく産まれた赤ちゃん
- ・双子や三つ子の育児サポート
- ・産後うつ等、お母さんの体調不良で育児が難しいご家庭など

ご自分が対象かわからない場合は、遠慮なくお問い合わせください。

対象地域： みよし市、豊田市、日進市、東郷町、名古屋市一部地域

利用の流れ：

- STEP 1** 利用の希望を伝える：
主治医・ソーシャルワーカー・保健師に利用のご希望を伝える。
もしくは当団体に直接お問い合わせください。
- ↓
- STEP 2** 訪問看護指示書の発行：
主治医からMomに訪問看護指示書が届きます。
- ↓
- STEP 3** 訪問開始：
初回の訪問でご料金やサービスの内容等をご説明させて頂き、
サービス開始となります。
※医療保険の訪問看護のご利用には医師の指示が必要です。

料金： 子ども医療費受給者証、健康保険証をご利用の方は
概ね自己負担はありません。

Photo by Keishiro Yamada

各事業の利用方法

Mom House

Mom Houseは、子育てするママが
ほっと一息くつろげるようにつくられた場所です。
親子でイベントに参加したり、専門家への相談をしていただけます。
また、産後ケアサービスも提供しています。



対象：

- ・未就学児の子育てに悩みのある方
- ・子育て支援団体や、家族会など

※お住まい・活動の地域は問いません

- 利用の流れ：**
- ・ご家族で参加いただけるイベントなど
随時、ホームページやSNSをご覧ください。
 - ・専門家への相談
例)●心理士やセラピストによる子どもの発達相談
●助産師/保健師による授乳や子育て相談
●看護師による医療的ケアの相談など
随時、お問い合わせフォームよりお問合せください。
 - ・産後ケアサービス
自治体により支援内容は異なりますので、
一度お住まいの自治体担当者にお問合せください。
 - ・スペースのご利用
子育て支援団体や、家族会などのイベントでも
お使いいただけます。

料金： 各種内容により異なりますので、お問合せ下さい。

Photo by Kenta Yoshizawa